

## 4. 実証実験の実施箇所

※ 主に技術的な検証を行う箇所



## ①道の駅 かみこあに

きたあきたぐん かみこあにむら  
(秋田県北秋田郡上小阿仁村)

病院:約300m  
役場等:約100m  
路線バス停あり  
農作物の集荷  
(ほおずき等)

<使用予定車両>  
レベル4+2技術  
乗用車型:ヤマハ  
路車連携型  
(電磁誘導線)



## ④道の駅 赤来高原

あかぎこうげん  
いいしぐん いいなんちょう  
(島根県飯石郡飯南町)

<使用予定車両>  
レベル4+2技術  
乗用車型:アイサン  
テクノロジー  
車両自律型



病院:約500m  
役場等:隣接  
路線バス停あり  
大学との連携  
(島根大学)

## ②道の駅 にしかた

とちぎし にしかたまち  
(栃木県栃木市西方町)

<使用予定車両>  
レベル4技術  
バス型:DeNA  
車両自律型



病院:約500m  
役場等:約300m  
路線バス停あり  
大学との連携  
(宇都宮大学)

## ⑤道の駅 芦北でこぼん

あしきた  
あしきたぐん あしきたまち  
(熊本県葦北郡芦北町)

病院:約500m  
役場等:約500m  
路線バス停あり  
農作物の集荷  
(フルーツ・野菜等)


<使用予定車両>  
レベル4+2技術  
乗用車型:ヤマハ  
路車連携型  
(電磁誘導線)



## ③道の駅 奥永源寺 溪流の里

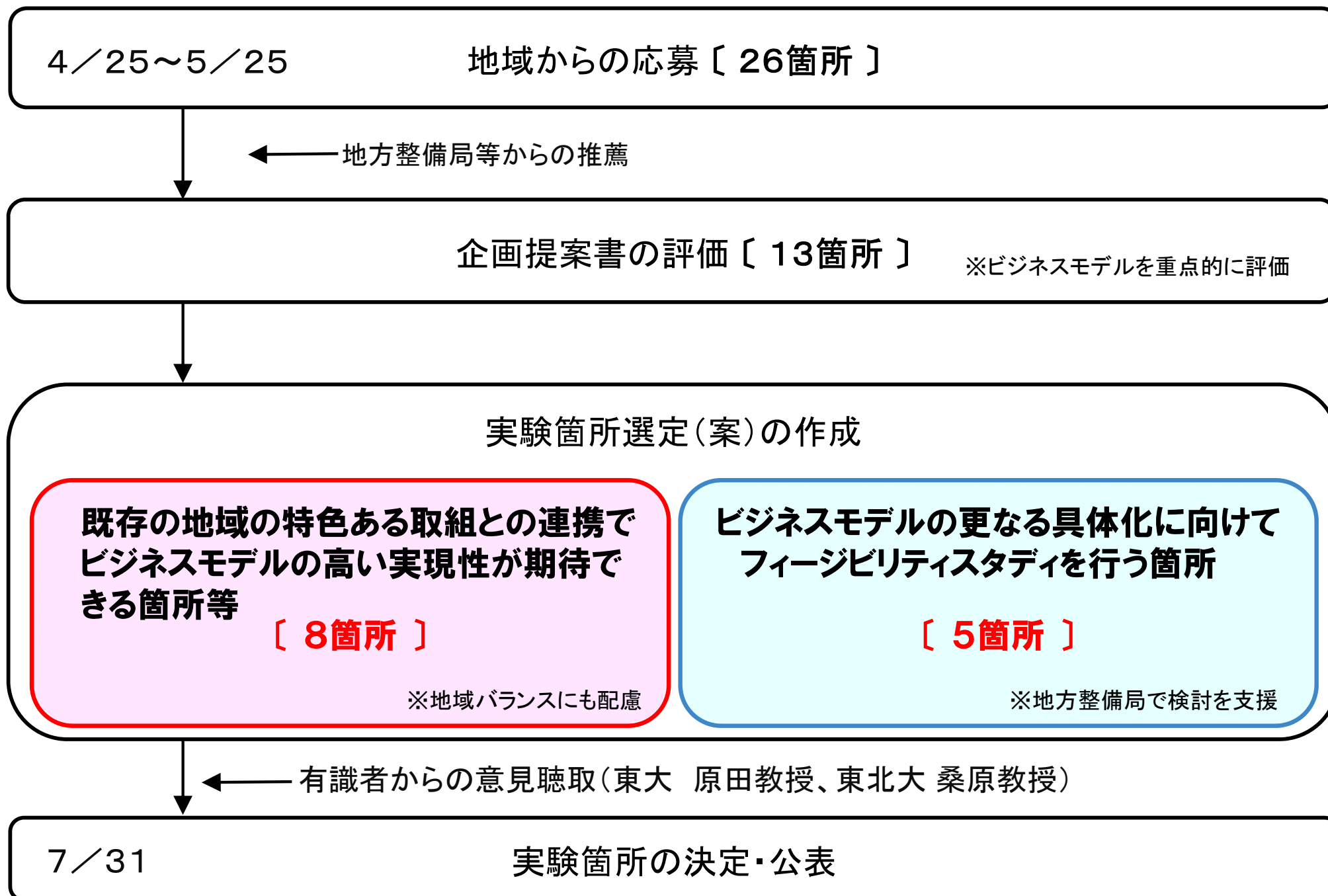
おくえいげんじ けいりゅう さと  
ひがしおうみし たてはたちょう  
(滋賀県東近江市蓼畑町)

<使用予定車両>  
レベル4+2技術  
バス型:先進モビリティ  
路車連携型  
(磁気マーカ)

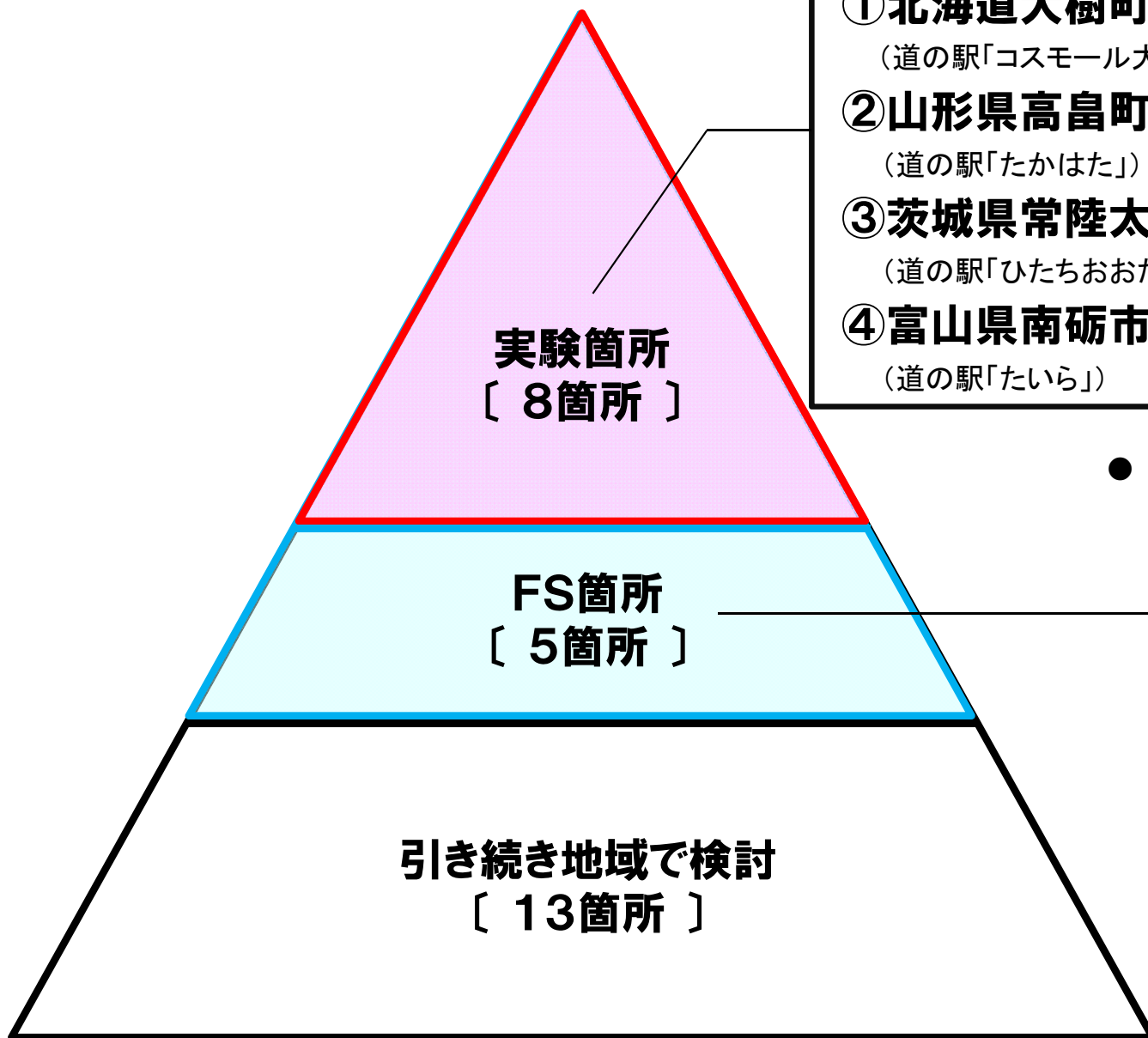


病院:併設  
役場等:併設  
路線バス停あり  
農作物の集荷  
(茶葉、納豆等)

# 公募型実証実験 箇所選定フロー



- 既存の地域の特色ある取組との連携でビジネスモデルの高い実現性が期待できる箇所等



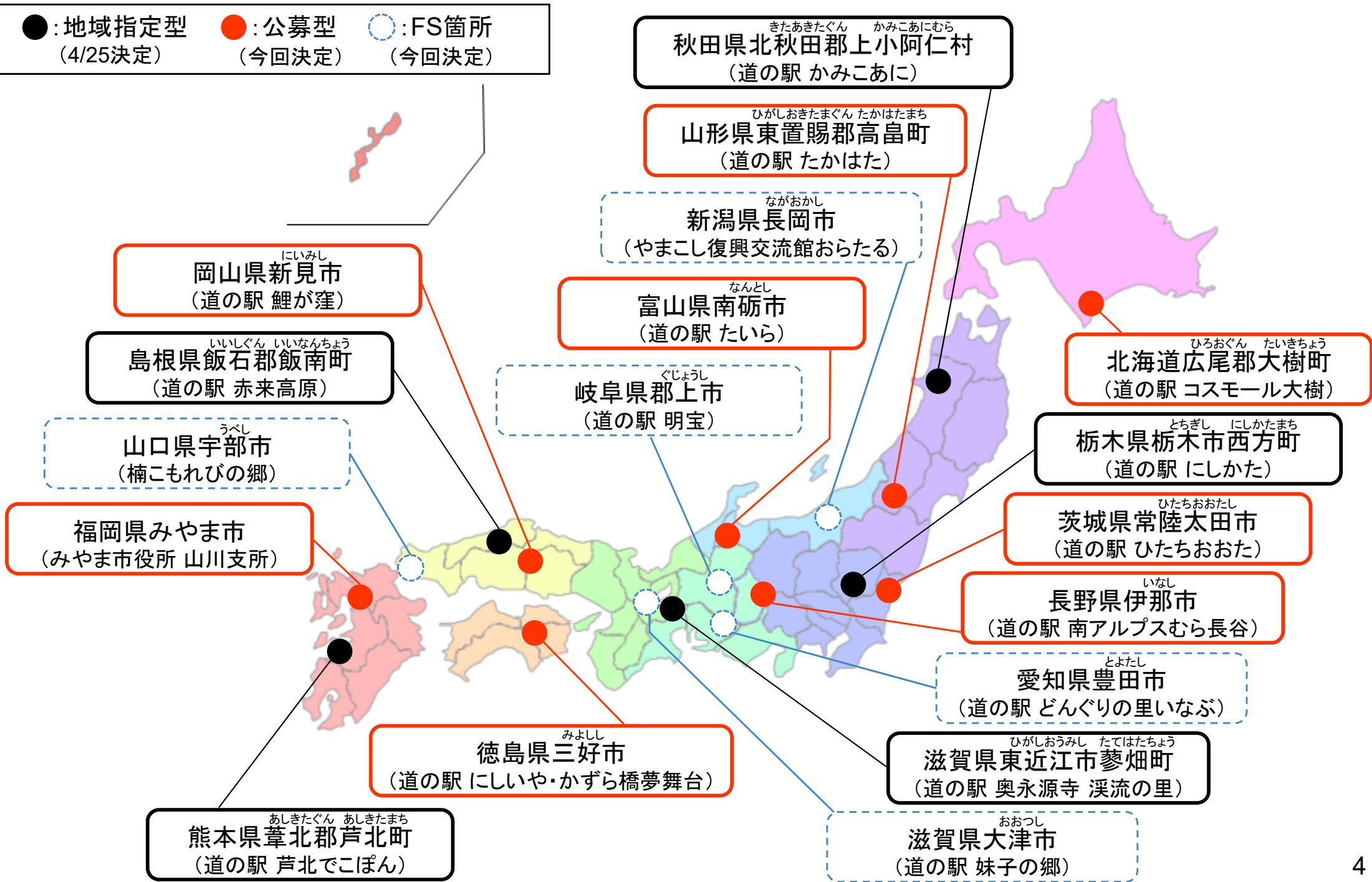
- |                            |                                |
|----------------------------|--------------------------------|
| ①北海道大樹町<br>(道の駅「コスモール大樹」)  | ⑤長野県伊那市<br>(道の駅「南アルプスむら長谷」)    |
| ②山形県高畠町<br>(道の駅「たかはた」)     | ⑥岡山県新見市<br>(道の駅「鯉ヶ窪」)          |
| ③茨城県常陸太田市<br>(道の駅「ひたちおおた」) | ⑦徳島県三好市<br>(道の駅「にしいや」・かずら橋夢舞台) |
| ④富山県南砺市<br>(道の駅「たいら」)      | ⑧福岡県みやま市<br>(みやま市役所山川支所)       |

- ビジネスモデルの更なる具体化に向けてフィージビリティスタディを行う箇所

- |                              |
|------------------------------|
| ①新潟県長岡市<br>(やまこし復興交流館「おらたる」) |
| ②岐阜県郡上市<br>(道の駅「明宝」)         |
| ③愛知県豊田市<br>(道の駅「どんぐりの里いなぶ」)  |
| ④滋賀県大津市<br>(道の駅「妹子の郷」)       |
| ⑤山口県宇部市<br>(楠こもれびの郷)         |

# 平成29年度 実証実験箇所 位置図

● : 地域指定型 (4/25決定)   ● : 公募型 (今回決定)   ○ : FS箇所 (今回決定)

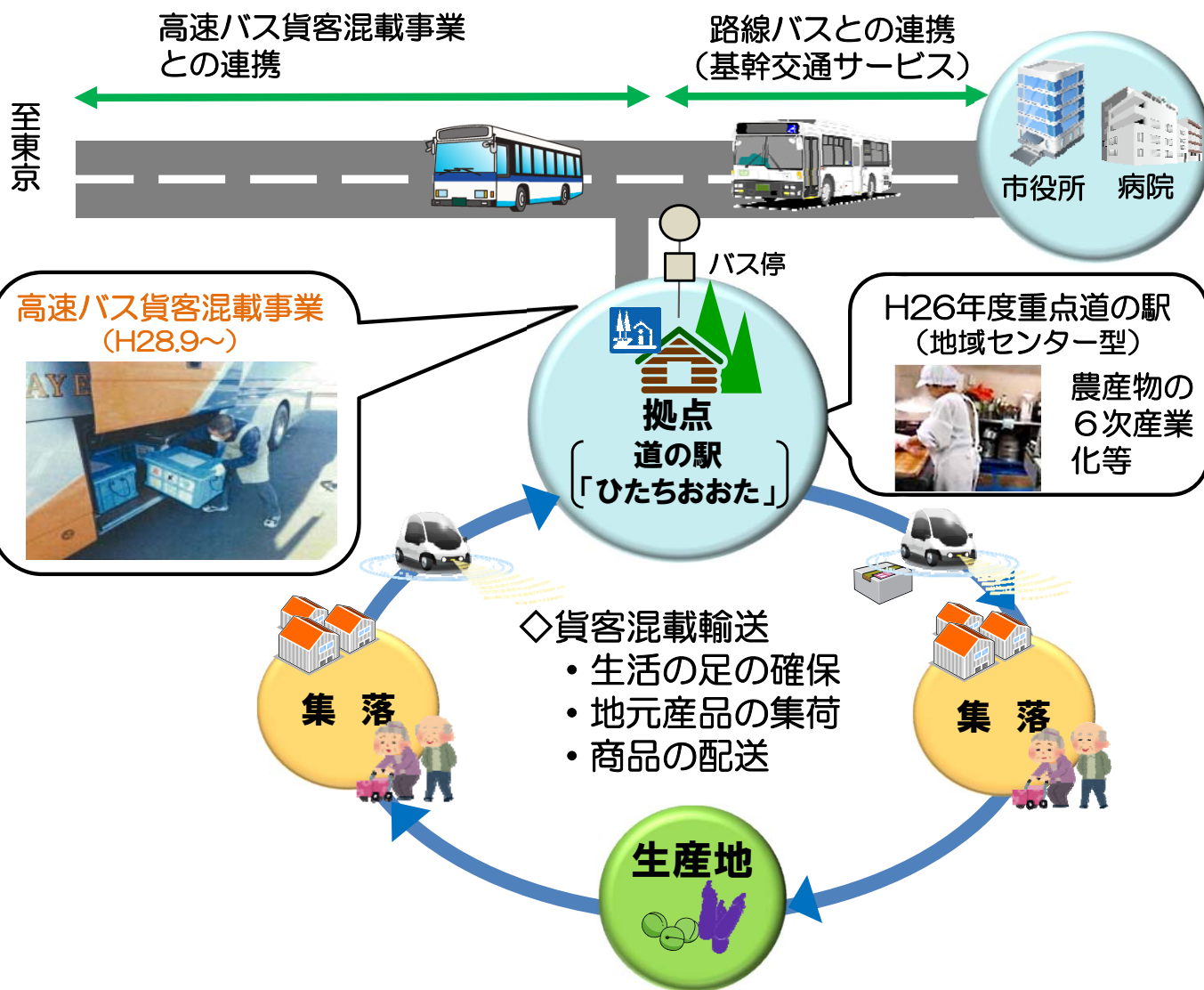




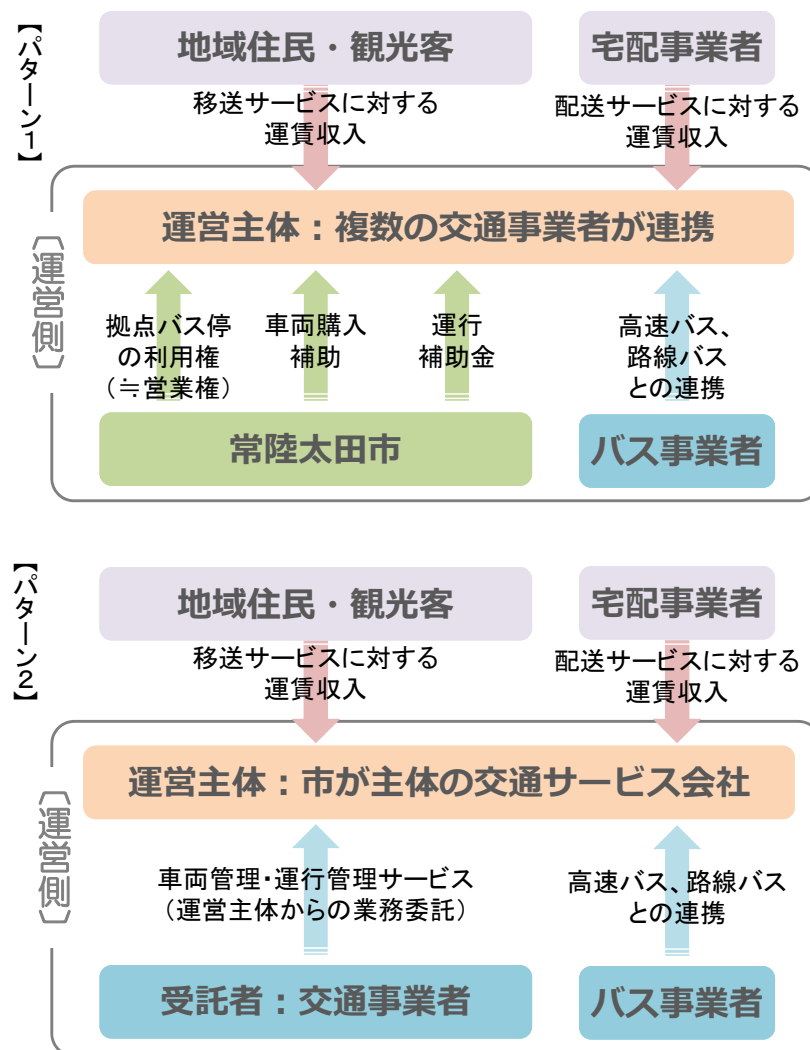
○高速バス等の広域交通と連携しながら、自動運転で地域内の生活の足や物流を確保

○既存の道の駅からの高速バスを活用した貨客混載事業(地元農産物の出荷)と連携

## <サービスイメージ>

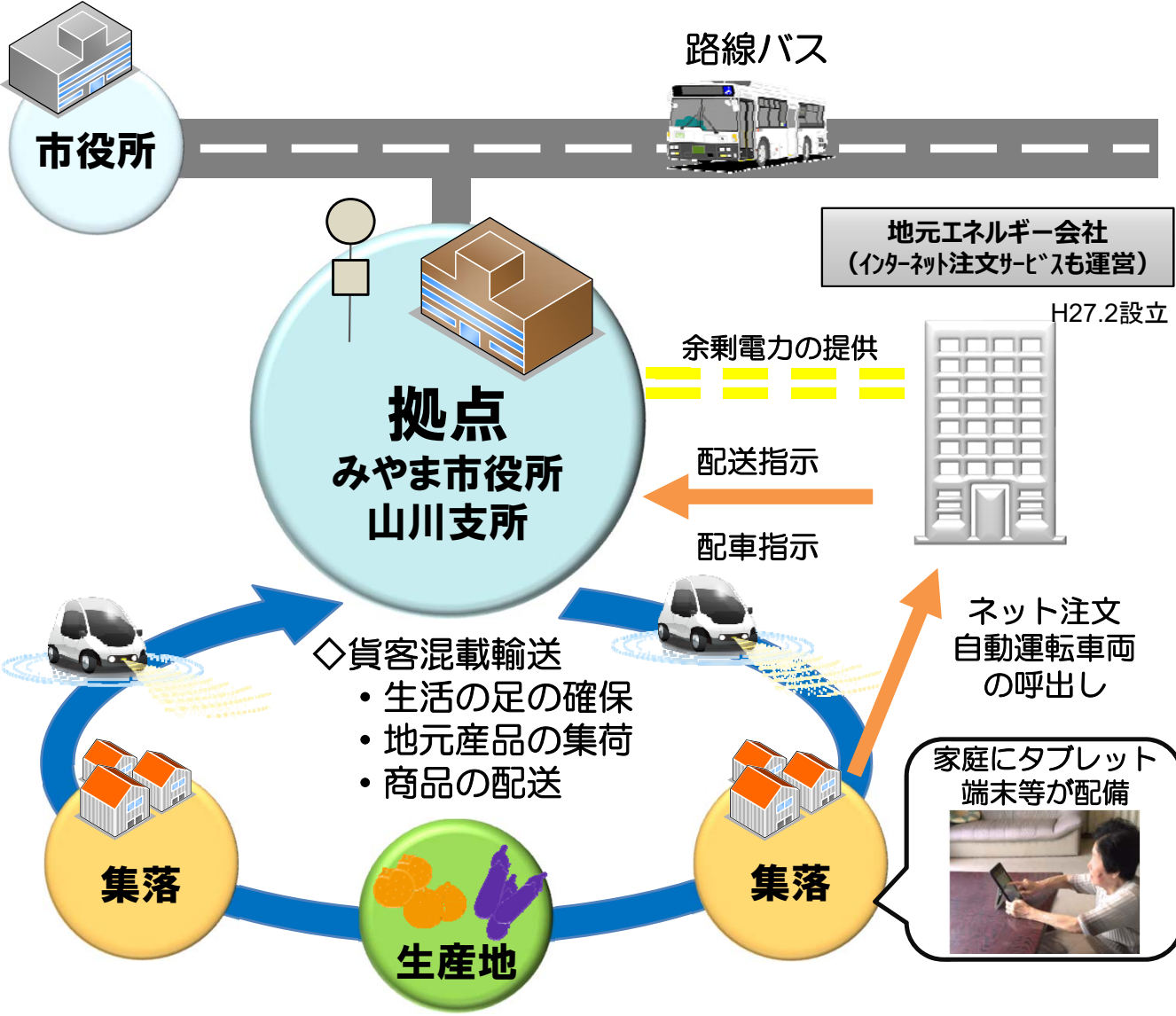


## <ビジネススキーム>

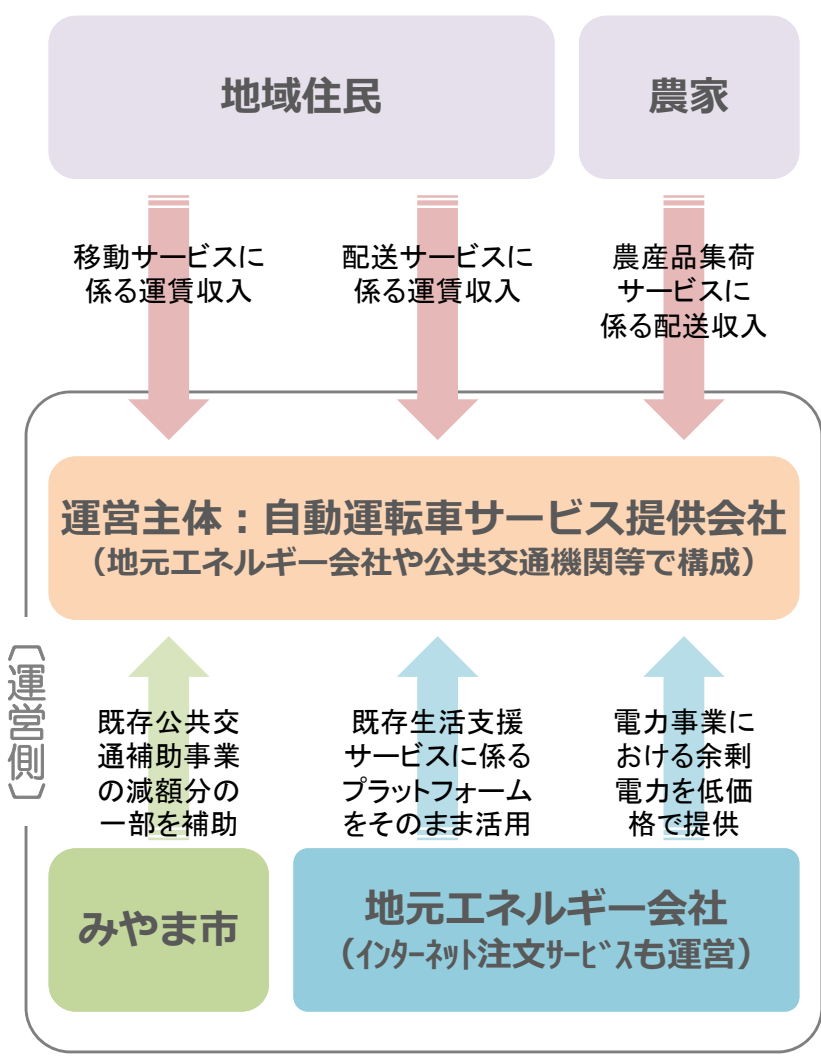


- 地元エネルギー会社の余剰電力を活用しながら、自動運転で地域内の生活の足や物流を確保
- 既に、地域で生活支援用のタブレット端末等のプラットフォームが整備

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>



※企画提案書をもとに国土交通省作成

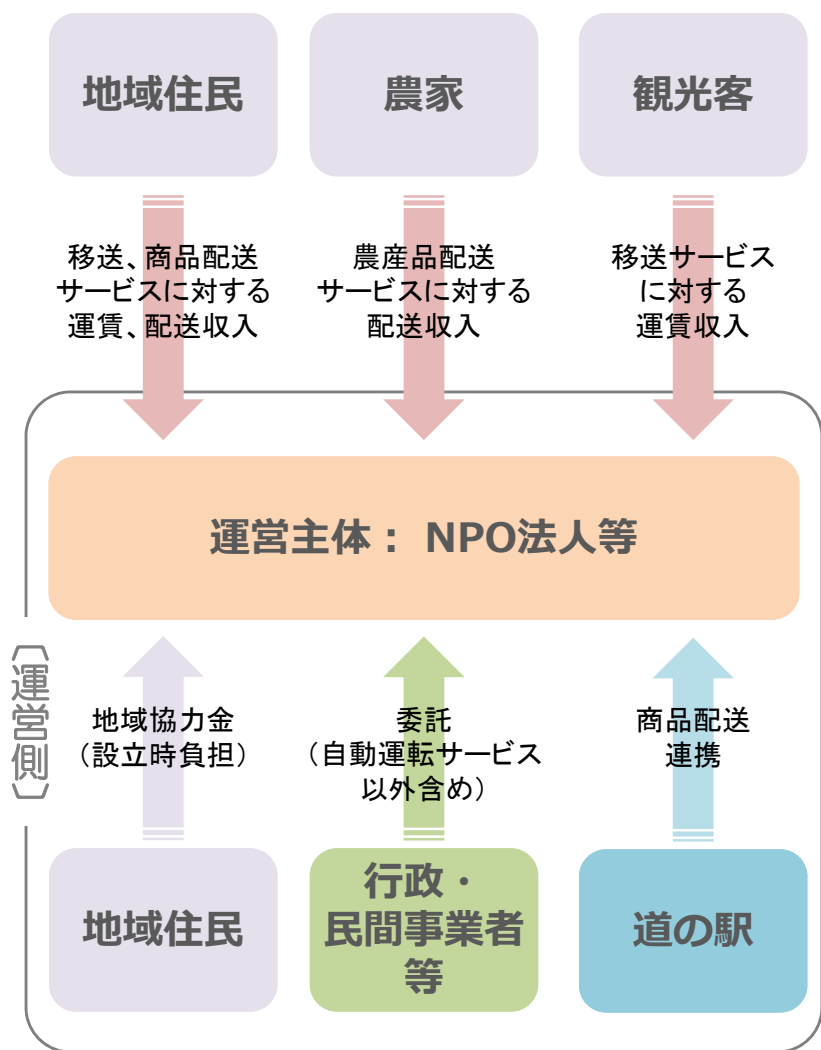
# 岡山県新見市:道の駅「鯉が窪」

- 高い拠点性をもつ「住民サービスモデル道の駅」を中心に、自動運転で地域内の生活の足や物流を確保
- 既存の先駆的な高齢者福祉サービス(デマンドバスや宅配・安否サービス等)と連携

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>





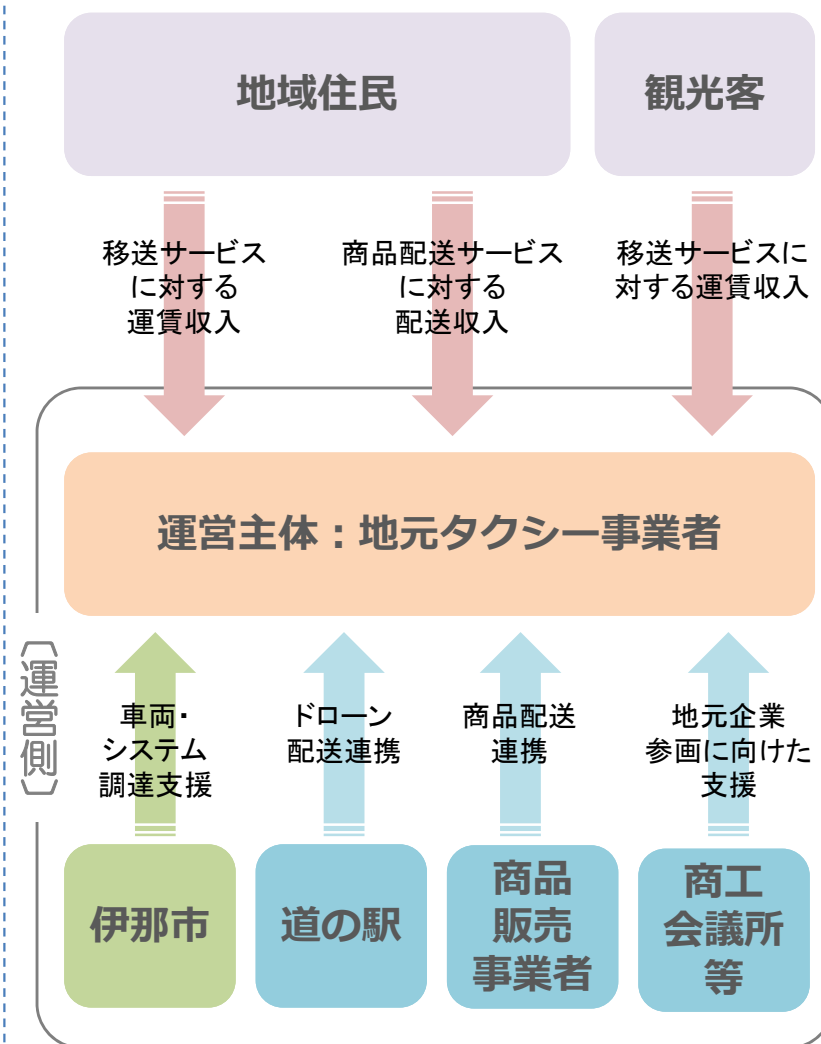
○リニア等の鉄道駅と道の駅を結ぶ路線バスとも連携しながら、自動運転で地域内の生活の足や物流を確保

○既存の物流用ドローンポート(実験)や、路線バスを活用した貨客混載と連携

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>



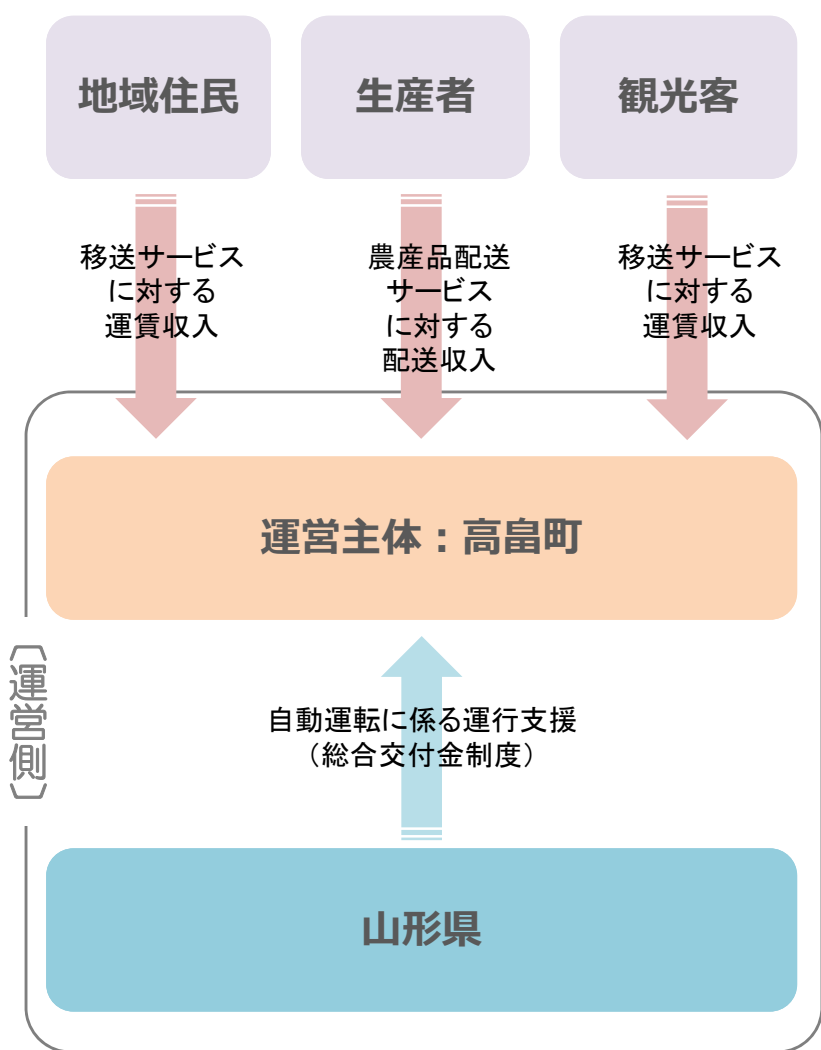
# 山形県高畠町:道の駅「たかはた」

- 鉄道廃線跡地を活用し鉄道駅と連携しながら、自動運転で拠点間及び地域内の生活の足や物流を確保
- 鉄道廃線跡地を用いることで長距離の専用空間を構築

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>



# 北海道大樹町:道の駅「コスモール大樹」

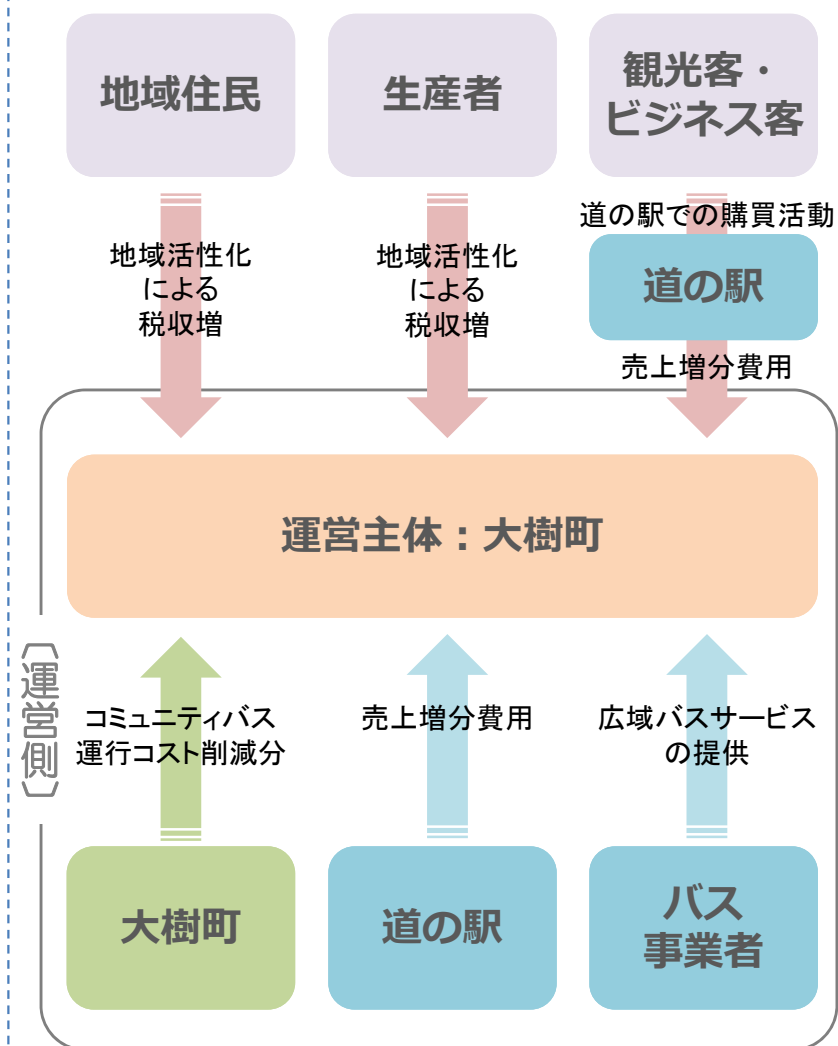
○路線バス等の広域交通と連携しながら、地域内の生活の足や物流を確保

○宇宙のまちづくりとして取り組んできた、多くの先進技術の実証実験等のノウハウを活用

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>

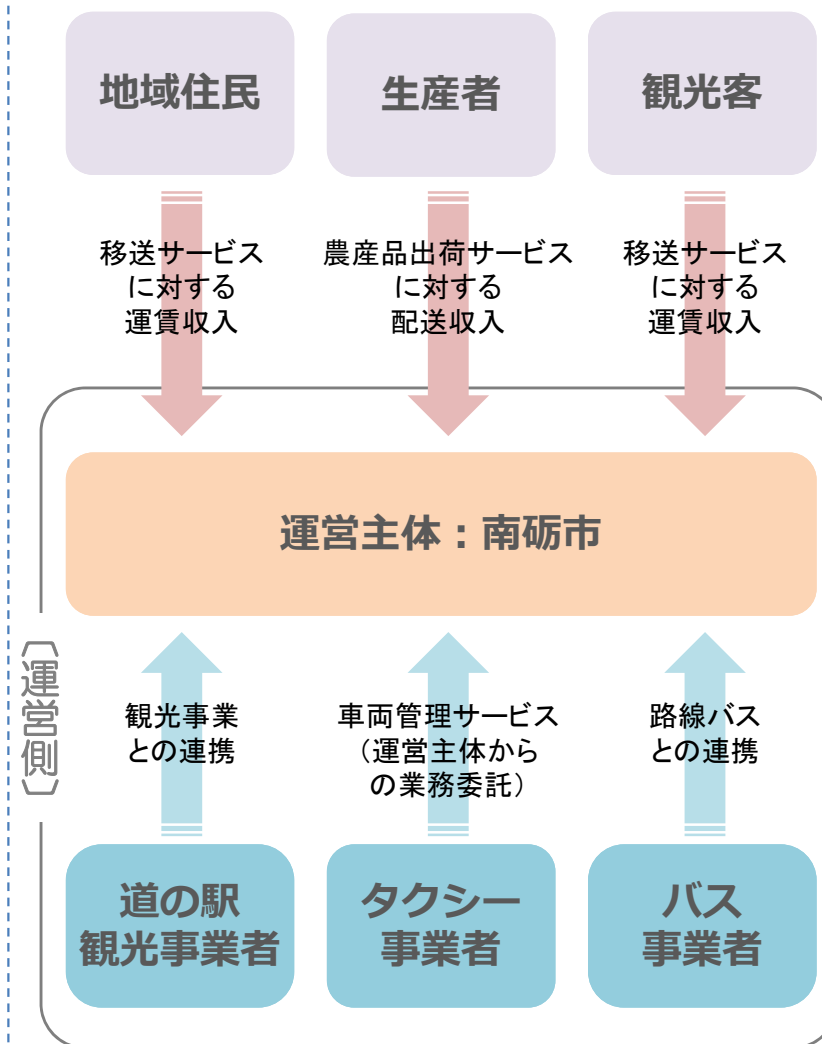


- 世界遺産(五箇山合掌造り集落)や周辺観光施設等を自動運転で接続し、新たな観光客の流れを創出
- 世界遺産エリアへの周辺地域の工芸品や農産物の販路を拡大

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>

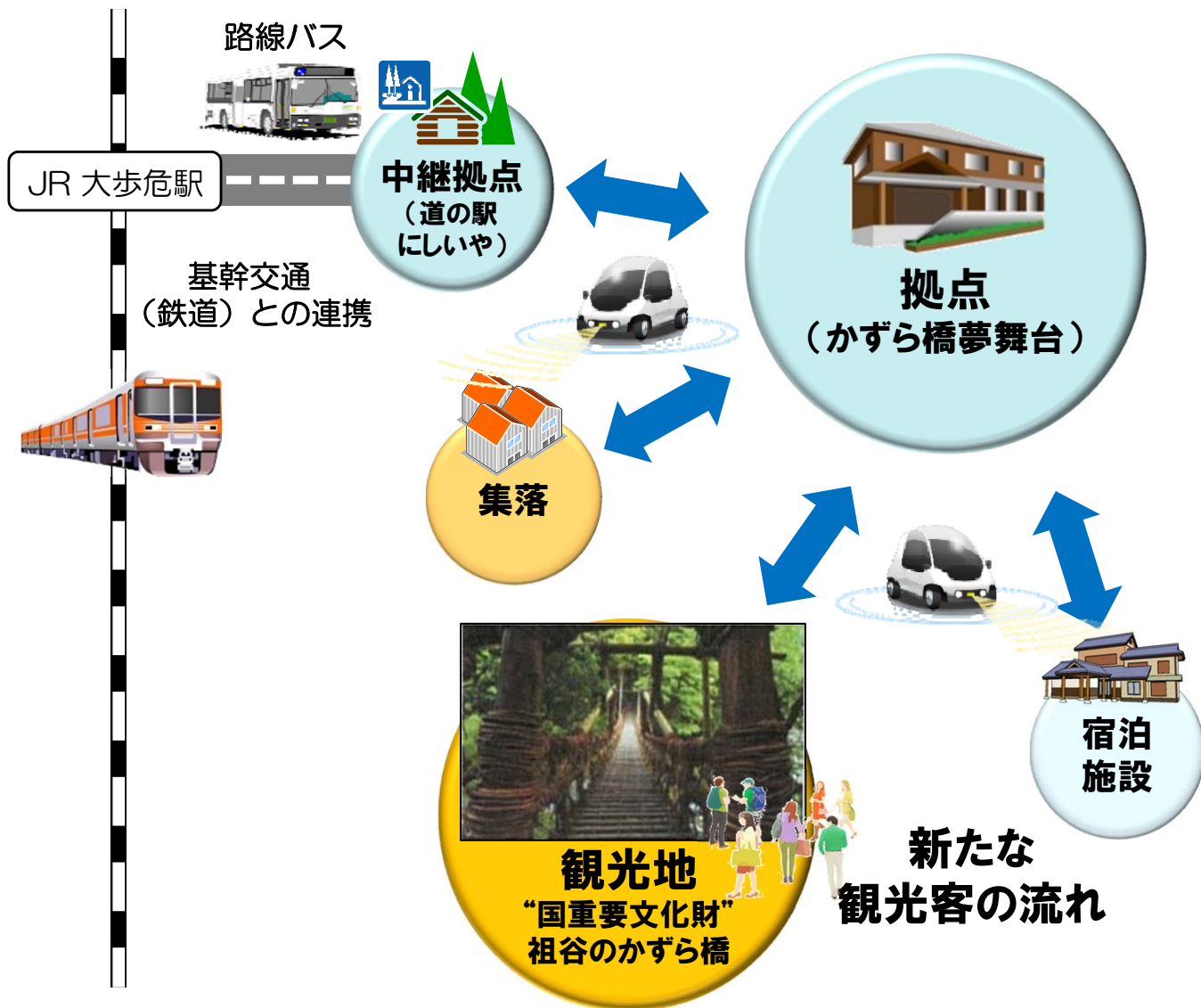




# 徳島県三好市:道の駅 にしいや・かずら橋夢舞台

- 大型観光施設を拠点に国重要文化財(かずら橋)や周辺観光施設等を接続し、新たな観光客の流れを創出
- 国重要文化財を訪れる観光客の滞在型観光を促進

## <サービスイメージ>



## <ビジネススキーム>

